

# 登 録 速 報

農 薬 名：クミアイパダントレボン粒剤L（登録番号：第 17744 号）

適用拡大登録月日：平成27年1月21日

適用拡大登録内容：

- 作物名「稲（箱育苗）」を削除する

**【変更後】**

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	カルタップを含む農薬の総使用回数
稲	ニカメイチュウ ツマゲロコバエ ウカ類 イネミスゾウムシ コブノメイガ イトヨイトムシ	3kg/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	6回以内 (種もみ浸漬は1回以内、 床土への混和、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)

注意事項の変更：

**【変更前】**

- 本剤を本田で使用する場合は次の注意を守ること。

**【変更後】**

- 本剤を使用する場合は次の注意を守ること。

**【削除事項】**

- 本剤を箱育苗に使用する場合は次の注意を守ること。
  - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植すること。
  - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
  - イネ苗の葉がぬれている場合薬害が生じやすいので、葉に付着している露を払い落としてから薬剤を散布し、軽く散水すること。
  - 誤って過剰に使用すると葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので所定の使用量、使用方法を厳守すること。
- 育苗箱に本剤を使用した苗の移植をする場合は次の注意を守ること。
  - 本田が砂質土壌の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけること。
  - 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意すること。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけること。また、深植にならないように注意すること。
  - 本田への移植後低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。また、移植後極端な高温が続くと予想される場合も使用をさけること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨：

**【変更前】**

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。また、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
- 散布後または移植後は、水管理に注意すること。

**【変更後】**

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- 散布後は、水管理に注意すること。

以 上